

**対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」大学生派遣
2019年度 大学生訪韓団 団員募集要項**

対日理解促進交流プログラムは、日本政府（外務省）が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣するものです。また、JENESYS2019は、対日理解促進交流プログラムのうち、アジア大洋州の各国・地域を対象とした事業です。

公益財団法人日韓文化交流基金と大韓民国教育部国立国際教育院は、本プログラムの一環として、毎年日韓両国の大学生を対象とした相互派遣を行っており、2019年度の大学生訪韓団は来年3月に実施する予定です。

韓国を訪問する参加者の皆さんは、日本の大学生代表として韓国の歴史や社会をはじめ様々な文化を学び、同時に日本の各分野についての魅力はもちろん、より深い相互理解促進につながるような情報発信を積極的にしていただきます。日本と韓国との未来に向けた友好・協力関係を築くことを目指す本事業に参加してくださる大学生の皆さんを広く募集いたします。

たくさんのご応募をお待ちしています！

事業概要

1. 実施機関

公益財団法人 日韓文化交流基金
大韓民国 教育部 国立国際教育院

2. 日 程

	*事前説明会	出 発 日	帰 国 日
①	3月2日(月)	3月3日(火)	3月12日(木)
②	3月9日(月)	3月10日(火)	3月19日(木)

<*事前説明会>

内 容：事前学習（講義・ディスカッション等）、趣旨・日程の説明、連絡事項伝達、
渡航に関する準備など

時 間：14：30～18：30（予定）

場 所：東京都内会議室（予定）

3. 実施内容

(1) 日程

韓国側実施機関がアレンジする日程となります。

実施日程例 ※諸事情により変更が生じる場合があります。	
出発前日	事前説明会（東京都内会議室予定），東京都内前泊
1日目	日本出国（羽田空港予定），金浦空港（ソウル）から入国予定
2日目	ソウル市内視察
3日目	大学訪問（ソウル市内または近郊）
4日目	ソウル市内視察，伝統文化体験 *南北軍事境界線付近（統一展望台など）の見学が含まれる場合もあります。
5日目	ホームステイ実施地域へ移動，ホームステイ
6日目	ホームステイ
7日目	地方へ移動
8日目	地方視察，大学訪問等
9日目	地方視察（釜山地域予定）
10日目	金海空港（釜山）から日本に帰国（成田空港）

※2018年度に実施した大学生訪韓団第1～2団の日程や内容等は，当基金ウェブサイト上で紹介されています。ご参考までにご覧ください。

（2018年度大学生訪韓団第1団）<http://www.jkcf.or.jp/youth/201904016-1/>

（2018年度大学生訪韓団第2団）<http://www.jkcf.or.jp/youth/20190416-3/>

(2) 経費負担

訪韓前日実施の事前説明会会場（東京）から最終日に帰国する空港（成田空港）までの交通費・宿泊費・食費（日本国内での食事は除く）は実施機関にて負担します。

<実施機関負担>

- ①日韓往復航空運賃（空港諸税，燃料特別付加運賃，航空保険特別料金等を含む）
- ②韓国における滞在費（交通費，食費，宿泊費，視察に係る入場料等）
- ③出発前日の宿泊費（東京都内又は出発空港近郊で宿泊予定）
- ④出発前日の事前説明会会場から宿舎及び出発当日の出発空港までの貸切りバス代
- ⑤以下の補償内容による海外旅行保険掛け金

傷害死亡・後遺障害	3,000万円	傷害治療費用	1,000万円
疾病治療費用	1,000万円	救護者費用	300万円
賠償責任	5,000万円		

<参加者負担>

- ①自宅から事前説明会会場（東京），帰着空港から自宅までの交通費
 - ②日程中，公式訪問先に贈る記念品代（2,000円程度）
- ※個人的な事情により，訪韓をキャンセルする場合や航空便を変更する場合の各種キャンセル料，変更手数料や新たに購入する場合の航空券代，その際の韓国国内の帰国空港までの交通費，延泊宿泊代等は参加者の負担となります。

4. 個人情報の取り扱いについて

- (1) この事業の実施に必要な個人情報については，公益財団法人 日韓文化交流基金の「個人情報の保護に関する方針（プライバシー・ポリシー）」に則り管理します。

(2) 入手した情報を以下の目的で利用し、関係先と共有することがあります。

- ①旅行手配に必要な範囲で、旅行代理店及び韓国側機関と情報を共有する（健康管理上、必要な情報もこれに含まれます）。
- ②大学訪問準備のため、韓国側機関及び訪問校と情報を共有する。
- ③アンケートの集計結果を外務省と共有する。

(3) 当基金は訪韓中に事業の記録や広報のため、活動の様子を写真撮影し、次の範囲で用いる予定です。

- ①当基金のホームページや広報物（印刷媒体）
- ②外務省の公報物

5. 募集人数・応募条件 ※応募には以下の①～⑫全ての条件を満たすことが必要です。
76名 *各団38名

- ①日本国籍を有する方、もしくは外国籍の方で日本の永住権を有し、日本の短期大学、四年制大学及び六年制大学の学部¹に在籍していること（大学院生は対象といたしません。また、外国籍で永住権を有する方は、応募時の書類に永住権を証明し得る公的証明書のコピーを添付してください）。
- ②韓国に継続して10日以上滞在した経験がないこと。
- ③過去に日本政府の派遣プログラムに参加した経験がないこと。

該当プログラム例：JENESYS（日韓高校生交流キャンプなどの当基金企画競争公募事業含む）、カケハシ・プロジェクト、MIRAI Program、日露青少年交流事業、Juntos!!、青年の船、訪中団、訪露団 など

④交流に必要な英語、もしくは韓国語の語学能力を有すること。

※ 次の資格、または同等の資格を有することを証明できること。
英検2級以上、TOEIC（IP可）500点以上、TOEFL iBT 32点以上、
TOEFL ITP/PBT 470点以上、ハングル検定3級以上、TOPIK3級以上

- ⑤訪韓時に満30歳以下であること。
- ⑥出国前日の事前説明会及び訪韓日程10日間、全11日間全日程に参加できること。
団員決定後、当基金が課す課題の提出が可能であること（事前・事後のレポート提出を予定）。
- ⑦Facebook及びLINEに登録し、当基金や団員とのやりとり（グループLINE）が可能であること。
- ⑧健康面を含め自己管理が可能であること。
- ⑨訪韓中・帰国後を含め、当基金及び外務省が定期的に行うアンケートへの協力が可能なこと。
- ⑩日本の大学生代表として、韓国での交流時に日本の魅力について積極的に伝えられること。
- ⑪訪韓中・帰国後を含め、今回の訪問での経験をSNS（Facebook、Instagramなど）やインターネット等を通じて情報発信することが可能であり、かつ、これを積極的に行う意思があること。
- ⑫訪韓団での経験を学校・公共の場において報告、または動画・ポスター等を作成し、SNS（Facebook、Instagram等）やインターネットを使い、積極的に情報発信ができること。

※参加が決まった場合でも、応募書類等に虚偽が発覚した場合、また応募資格に欠格が生じた場合には、参加を取消させていただきますので予めご了承ください。

6. 応募書類

以下の必要書類を本要項の最後に記載した送付先にご郵送ください。

(1) 応募自由記述文（エッセイ）

- ①当基金ホームページにある応募フォームに必要事項を入力し、送信すると整理番号が明記されたメールが自動送信されます。

※選考結果はこの整理番号での発表となりますので、必ずお手元に控えておいて下さい。

- ②同ホームページから**応募自由記述文フォーム**をダウンロードし、以下のテーマについて1200字以内でエッセイを作成。

＜テーマ＞

巷では、現在の日韓関係は戦後最悪とも言われていますが、①そのような時期にあなたが訪韓団員として訪韓したい理由を書いてください。また、訪韓中には少なくとも2回、韓国人大学生とのディスカッションの機会が設けられる予定ですが、②その際に、どのような内容についてディスカッションを行いたいのか、そして③帰国後、今回の訪韓経験を生かし、どのような活動に繋げていきたいのか、以上3点について自身の考えを簡潔にまとめてください。

- ※フォームの右上欄に①で取得した整理番号を記載して下さい。記載のない場合には、「不受理」となりますのでご注意ください。
※応募記述文は本人作成の未発表のものに限り、他へ提出応募したものとの二重応募は認めません。

- (2) 在学証明書原本（コピーは不可）※今年度発行されたもの。※厳封の必要はありません。
(3) 永住権を証明し得る公的証明書のコピー ※外国籍の方のみ
(4) 語学能力を証明するもの ※コピー可

7. 応募締切

- ◆応募フォーム送信：2019年11月13日（水）17時
- ◆必要書類郵送：2019年11月13日（水）※当日消印有効

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ファックスや電子メールでの応募は不受理となります。・郵送書類受理の連絡は、当方からは一切いたしませんので、なるべく、発送を記録できる方法（特定記録郵便、書留、宅配便など）でご送付いただき、ご自身で番号追跡サービスなどを利用し、ご確認いただきますようお願いいたします。 |
|---|

選考の結果は、**12月25日(水)までに**当基金ホームページにて、団員決定者の整理番号を公表します。ご自身の整理番号を必ずお手元に控えておいてください。

選考過程及び選考結果の理由等に対するお問い合わせには、一切お答えできませんので、予めご了承ください。

＜お問い合わせ先・応募書類送付先＞

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-21-2 ユニゾ水道橋ビル5階
「公益財団法人 日韓文化交流基金 大学生訪韓団 担当者」宛

TEL：03(6261)6790／FAX：03(6261)6780

e-mail: haken@jkcf.or.jp

業務時間：9:30～12:30, 13:30～17:30（土日祝日を除く）